



▲講師の動きに合わせて踊る留学生

**日本の文化に触れながら**  
留学生が「かっぽれ踊り」体験

5月9日(火)、日本工学院北海道専門学校ビジネス学科観光ビジネスコースに今年度入学した韓国などからの留学生が、日本文化講座『かっぽれ踊り』を受講しました。

同専門学校は、留学生を対象に日本のホテルなどへの就職に向けた同コースを今年度新設。ビジネスマナーなどの学習に加えて、日本への理解を深めるため、登別市文化協会の協力のもと、生け花や茶道などさまざまな日本文化を体験する講座も設けました。

同協会の会長・熊野正宏さんは、「このような機会を通じて日本文化に興味を持ってもらえば」と話していました。

5/9

春の花々がお出迎え  
ミズバショウ観覧会

5/3

5月3日(水)から5日(金)にかけて、キウシト湿原でミズバショウ観覧会が行われました。

初日の3日には20人ほどが参加し、『NPO 法人キウシト湿原・登別』のメンバーからガイドを受けながら、普段立ち入ることができない『保全エリア』の中で咲き誇るミズバショウやカタクリなどの花々を目を見張っていました。

また、オーストラリアから飛来するというオオジシギのさえずりや普段見ることができない草花など、春のキウシト湿原の魅力に、参加者は、目と耳でキウシト湿原を楽しんでいました。

▶保全エリアで解説を受ける参加者



亀田記念公園で  
春を楽しむ

5/14

Nネットまつり開催

5月14日(日)、亀田記念公園でのぼりべつNPO ネットによる『Nネットまつり』が行われました。

市内で活動するNPOなどの市民団体が横のつながりを持ち、お互いの活動をより高めていこうと構成した『のぼりべつNPOネット』が、亀田記念公園を舞台に、イベントを開催するのは今年で2回目。

あいにくの天気ではありませんでしたが、会場には多くの人が訪れ、さまざまな花の苗や野菜、日頃の作品などそれぞれがお目当てのものを探していました。また、おでんや手作りパンなど各団体の自慢の品を堪能する人や自然豊かな公園内を散策する人など、訪れた人たちは、思い思いの春を楽しんでいました。

のぼりべつNPOネットの代表・山田正幸やまだ まさゆきさんは、「このように市民団体が一堂に集まるイベントなどを通じてこれからも横のつながりを持ちながら、それぞれの活動から地域づくりを担ってほしい」と話していました。



▲いろいろな花の苗が並ぶ会場



▲日頃の作品を販売する参加者